

ホザキノフサモ

日本各地の流れのある河川や水路、流れのない湖やため池などに、水中に沈んだ状態で生育します。少々汚れた水や、淡水と海水がまざる汽水でも生育し、広い生育環境をもつ水草です。

細長い茎にふさふさとした葉が4つずつつく4輪生(りんせい)の葉をたくさんつけます。

初夏から秋にかけて、水の上に花を咲かせます。小さな花がたくさん茎についていますが、上の方にあるのが雄花、下のほうにあるのが雌花です。

最近では南アメリカ原産のオオフサモが各地で繁茂し、問題になっています。

富士市での現状

傾斜が緩やかな地域や平野部の河川や水路に、広く生育しています。富士川左岸の河口近く、海水の影響を受けていると思われる池でも生育が確認されています。

エビモやコカナダモと並ぶ、生育範囲の広い水草です。しかし、水の汚れがひどい水域ではみることができません。



(上) ホザキノフサモの生えている様子
(右) ホザキノフサモの花

ホザキノフサモを確認したメッシュ

